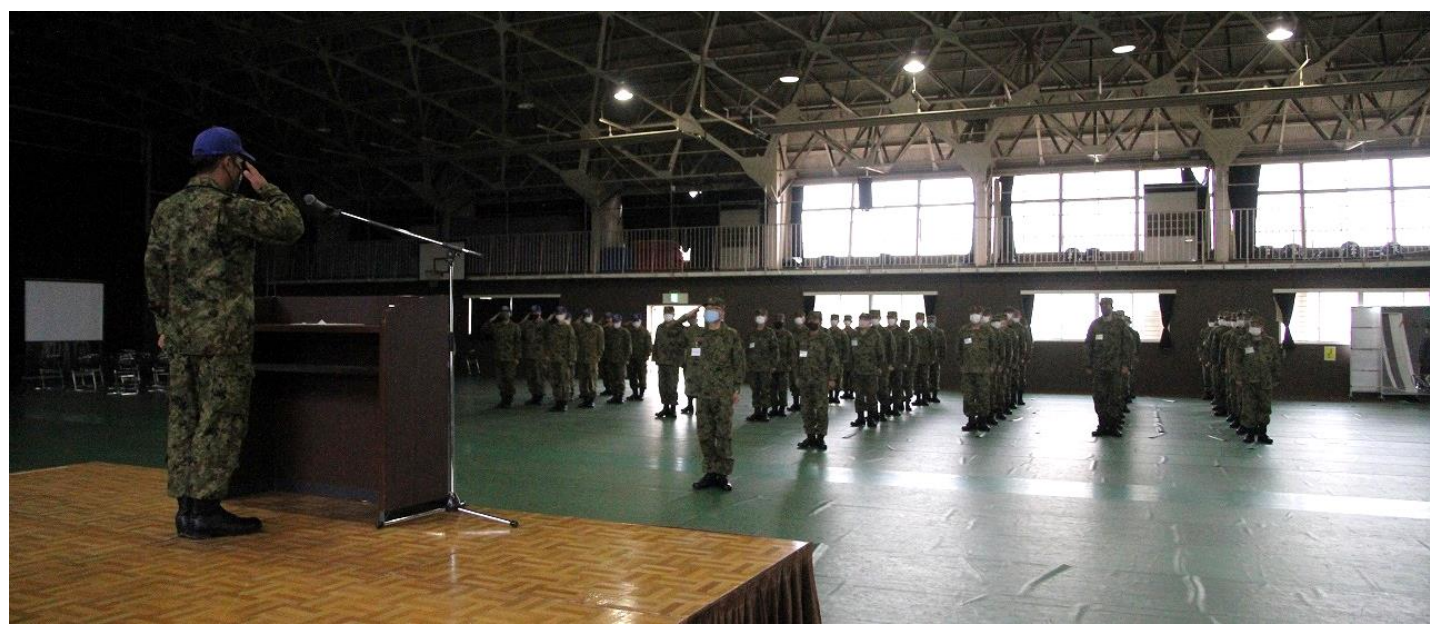


実戦的訓練堂々完遂！ 予備自衛官 5日間招集訓練を支援



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は10月9日（金）から13日（火）までの間、陸上自衛隊高田駐屯地において、予備自衛官5日間招集訓練を支援しました。県内では今年度5回目の招集訓練であり、第2普通科連隊（連隊長 1陸佐 古賀理都靖）が担任し、予備自衛官82人が参加しました。



訓練項目は精神教育、武器訓練、救急法、通信訓練、特殊武器防護訓練等を実施し、各予備自衛官は、必要な知識及び技能について復習を行い、練度の維持・向上が図られました。特に、実戦的な市街地戦闘を想定したガンハンドリング訓練では、接近戦闘で必要とされる小銃等の立射姿勢からの緊急弾倉交換や応急射撃等の各種動作について、積極的に質問し熱心に取り組む姿も見られました。

参加した予備自衛官は「自分の現役時代には無かった新しい訓練、技術に接することができ、自衛隊の進化を感じるとともに、新鮮な気持ちで各種訓練に取り組めた。今後も新しい技術の修得に努め、頑張っていきたい」と話していました。



新潟地方協力本部長執行の表彰式では、今回の招集訓練で予備自衛官の最終任期満了を迎えた高田地域事務所の広報官として勤務している本間 博予備2陸尉に対して、東部方面総監からの顕彰状を伝達しました。本間予備2陸尉は「本当に長い間、お世話になりました。今後も様々な形で自衛隊に関与し、貢献していきたいと思えます」と語りました。

新潟地本は、今後も県内各部隊と連携し、予備自衛官の身上把握及び出頭確認を適確に行っていきます。